

平成 30 年秋のバス旅行

主催：都立目黒高校同窓会

～川越町歩きと老舗料亭フレンチの旅～

実施日：平成 30 年 11 月 28 日

旅 程

渋谷クロスタワー出発 08：00



① 高麗神社 09：30～10：15

かつての朝鮮半島北部に栄えた高句麗から、高麗王若光と共に、高句麗人 1,799 人が移民して未開の武蔵国が開拓され、その後、若光は 716 年に高麗郡の首長になりました。若光が没した後、高麗郡民は徳を偲び、「高麗明神」として祀った経緯があり、1300 年の歴史がある神社です。ひとつ目の鳥居をくぐった参道の右に、將軍標と呼ばれる像があり、出入り口で、邪気の侵入を防ぐ魔除けとして、朝鮮半島の風習により造られたようです。鳩山一郎氏らが参拝後、相次いで総理大臣になったことから「出世明神」と呼ばれるようになり、パワースポットとしても知られるようになりました。境内隣接地には江戸時代に建てられた高麗家住宅があります。

② 喜多院 11：15～12：30

慈覚大師が 830 年（天長 7）に創建した天台宗の名刹で、正式には星野山無量寿寺喜多院。徳川家康の信任を得ていた天海僧正が第 27 世住職になると、幕府からの厚い庇護を受け、江戸城から豪華な壁画や墨絵で装飾された「客殿」と呼ばれる家光誕生の間や、3 代將軍家光の乳母として知られる春日局が使用していた「書院」と呼ばれる春日局化粧の間などが移築されました。江戸城ゆかりの建造物に加え、山門・鐘楼門・慈眼堂などが重要文化財に指定されており、また隣接して、駿府で没した徳川家康公の遺骸を日光山へ運ぶ途中で法要が行われたことから建設された日本三大東照宮の一つである仙波東照宮もあり、江戸時代の香りを色濃く残す徳川家とゆかりの深い寺です。また、日本三大羅漢の一つに数えられる五百羅漢は、人間の喜怒哀楽をよくとらえた様々な表情の石仏群でおよそ 540 体が境内に並んでいます。

③ ランチ ハツネヤガーデン 12：45～14：30

ハツネヤガーデンの前身は、明治元年創業の老舗料亭「初音屋」。100 畳にも及ぶ大広間では昔から婚礼や祝賀会など大勢の人々が集う宴も頻繁に開かれ、華やかなイベントも行われてきました。明治期の建物は建築物としても貴重で、川越市の重要建築物にも指定されています。

④ 小江戸川越自由散策 14：45～16：30

川越の地名の由来といわれるのは、鎌倉時代の武士・河越氏です。その後この地を治めた上杉氏の家臣であった太田道真・道灌父子が川越城を築き、城下町が形成されていきました。江戸時代、川越藩は江戸の北の守りとして重要視され、寛永 15 年（1638 年）の大火後、藩主となった松平信綱により新河岸川の舟運と城下町が整備されると、流通の中継地として発展。地元の農産物や特産品が江戸へ運ばれ、逆に江戸からは最新の文化が持ち帰られたことから、川越は小江戸と呼ばれました。しかし繁栄した川越を明治 26 年、再び大火が襲い、川越の中心街のほとんどが焼失。そこで川越の商人たちは、耐久性を備えた建築として蔵造りに着目。今も残る蔵造りの街並みは当時の商家の名残りであり、江戸の情緒を今に伝える川越観光の見どころとして欠かせないものになっています。

⑤ 渋谷クロスタワー到着 18：00 予定